

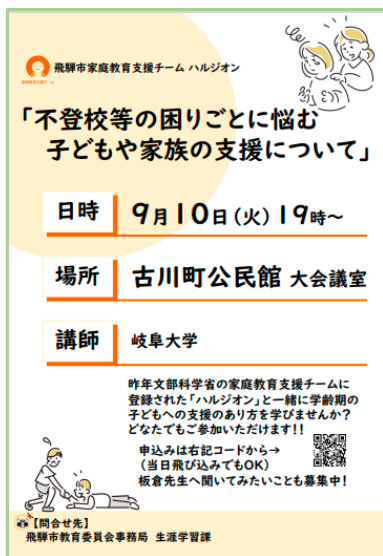


令和6年10月18日発行 NO7
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

夏休みの取組 2

< 通信【飛騨っ子】 >

◆ 子育て講演会 「不登校等の困りごとに悩む子どもや家族の支援について」 講演会型



○ 飛騨市家庭教育支援チーム（ハルジオン）の存在

- ・令和3年4月：不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会として、地域に拠点を置き活動をスタート。
- ・令和5年9月：文部科学省の「家庭教育支援チーム」に登録。
(R5 通信【飛騨っ子】NO 11 参考 上記 二次元コードより)

○ 講演会開催に対するチームの思い

不登校等の困りごとに悩む方々に、是非とも専門家のお話を届けたい！支援チームに登録後、それまで以上に様々な情報や資料を得ながら、生涯学習課と連携し念願の講演会を実現されました。

不登校の問題は飛騨市だけの問題ではありません。飛騨管内の家庭教育担当課の連携により、広範囲から50名以上の参加者が集まりました。熱心にメモをとる方、資料にアンダーラインを引く方、講演後に講師の先生のもとへ相談に並ぶ方々の姿が印象的でした。

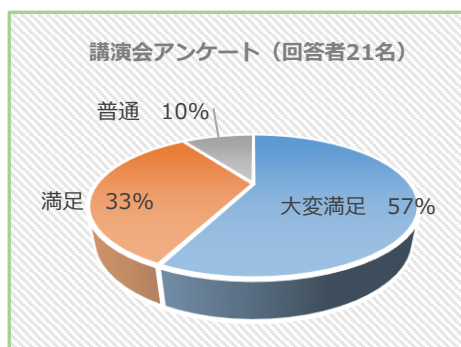


<参加者の感想>

- ・ハルジオンさんの名前は存じ上げておりましたが、活動にふれさせてもらうこと、メンバーの方にお会いするのは今回が初めてでした。こんなに学びの多い会を開いてくださり、ありがとうございました。
- ・親であれ支援者であれ、わが子が必要な葛藤に立ち向かうための
勇気づけをし、克服して乗り越えていく過程と一緒に進むことが大切
なのだと思います。
- ・今まで「気持ちが沈み込んでしまった状態から、どんな段階を経て
前向きな心持ちへと変化し得るのか」という部分がイマイチ分からず不安に思っていたため、特に「不登校支援の階層」あたりの項目でとても納得でき、有難かったです。



<熱心に視聴する参加者>



- ・本日はありがとうございました。その子をこういう子だと決めつけてしまうと、見えなくなってしまう小さな事。
この小さな変化をも逃さない対応をこれからも大切にします。

◆ 高山幼稚園 夏休みのお約束表 在宅取組 基本的な生活習慣 家族の大切さ
○主催:幼稚園 ○内容:夏休みのお約束表 ○期間:夏休み



□ 実践カードの工夫

高山幼稚園では、毎年、夏休みに「夏休みのお約束表」を配布し、親子のふれあいを通し基本的な生活習慣や健康づくりに取り組んでいます。毎日の積み重ねが、基本的な生活習慣をつくります。

園からの約束は、「早寝・早起き」と「歯磨き」です。そして、お家の人との約束(例:<図1> てつぼうのけんきゅう <図2> 毎日1つはお手伝いをしよう)、担任の先生との約束(例:<図1> 走り跳びをしよう <図2> 箸の持ち方を練習しよう)に取り組みました。

今年度は、裏面(<図3・図4>)を「夏休みの思い出づくりのコーナー(自由)」としたところ、大きな反響があったそうです。保育士の皆さんは、夏休み明けに登園する子どもたちに<夏休みの思い出づくり>の内容を話題として声かけができ、子どもたちも保育士さんたちもみんな元気よくスタートをきることができました。

表

早起き 早寝

歯磨き (朝昼夜)

裏

お家の人との約束

担任の先生との約束

<図1>

夏休みのお約束表

<図2>

お家の人との約束

<図3>

夏休みの思い出づくりのコーナー

<図4>

担任の先生との約束

□ 「わが家の約束」運動のリーフレットを活用

今年、夏休み前の二者懇談会にて配布されました。直接渡しながら説明することで上手に活用されるご家庭があったようです。園長さんが「リーフレットにある実践例(宮代こども園)がとても参考になります。」と話してくださいました。

人に会ったらあいさつをする

わが家の約束

みんなで朝ごはんを食べる

みんなの約束

みんなではやね・はやおきをしよう

みんなの約束

清波の国さ

子どもたちの健やかな成長のために

まいあさ はやおきして ぱばとおさんぽができてうれしかったよ

◇ **高山市立山王小学校** ～家族みんなの笑顔が増えますように・顔見知りになれるように～

- **「話そう！語ろう！わが家の約束」運動** 在宅取組型 家族の大切さ 基本的な生活習慣
○主催:PTA ふれあい委員会 ○期日:夏休み ○対象:全家庭

ふれあい委員の皆さんが中心となり、県の情報を参考に案内や実践カードを作成し取り組まれました。



・願ひ

夏休みを利用して各ご家庭で都合のよいときに取り組んでみてください。実践を通して家族のふれあいが増え、家族の絆が強くなることを願っています。

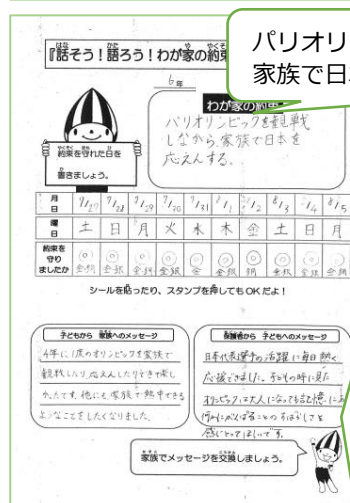
子どもだけの約束でなく、家族みんなの約束になるように工夫してみましょう。

……家族みんなの笑顔が増えますように



・どんな約束をつくればいいの？

例えば・・・ 家族みんなで
・元気に挨拶（おはよう・おやすみなど）・ティー（おやつ）タイム・体を動かす（散歩やラジオ体操など）・一日の出来事を話す・工作をする（折り紙・粘土・パズル・プラモデル）・家庭菜園をする



パリオリンピックを観戦しながら、
家族で日本を応援する。

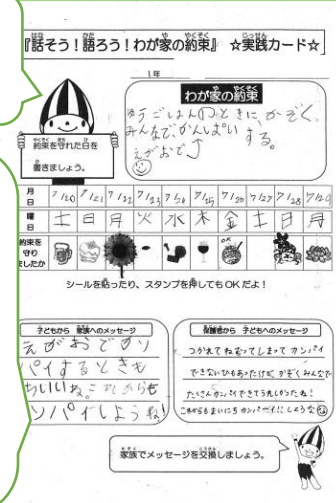
夕ご飯のときにかぞく
みんなで、えがおでかん
ぱいする。

4年に1度のオリンピックを家族で応援したり観戦したりできて楽しかったです。他にも家族で熱中できるようなことをしたくなりました。(子)

子どもの時に観たリンピックは大人になっても記憶にあり、何かに頑張ることのすばらしさを感じてほしいです。(親)

えがおでかんぱいするときもちいね。(子)

かぞくみんなでたくさんカンパイできてうれしかったね。これからもまいにちカンパイ!!しよう。(親)



- **学級懇談会（家庭教育学級）** ～子どもの成長を感じる～ サロン型 家族の大切さ
○主催:PTA ふれあい委員会 ○期日:令和6年9月6日（金）授業参観後 ○対象:全校の保護者



・願ひ（案内文より ふれあい委員長）

保護者の方から「学級の親御さんのこと誰も分からない。」という声を多く聞きます。コロナ禍を経て、保護者関係が希薄になってしまったと感じます。そこで、同じ学級の保護者が顔見知りになれるよう家庭教育学級を計画しました。授業参観後の30分間ですので、ぜひ、ご参加ください。

< サロン型:まずは自己紹介から >

今年度、初めて試みた取組。教室を保護者同士の子育て交流の場（空間・居場所）とするアイデアがすばらしいです。

◇ 飛騨市立古川西小学校 古川魅力再発見 学校行事（授業）参加型 + 在宅取組型

○主催：古川西小学校 ○期日：夏休み ○対象：6年生の親子 自立心 思いやり 家族の大切さ

古川西小学校では、全学年が教科等の学習を通し、親子と一緒に活動する機会（時間）を大切にしています。例えば、2年生の年間計画（10月）には、学習主題：「親子で挑戦！さつまいも料理」、学習内容：「学校で収穫したさつまいもを各家庭において親子で調理する（取組用紙を活用）」と、位置づけられています。

保護者が授業に参加・参画する機会（時間）を位置づけ、親子の豊かなコミュニケーションを生み出すきっかけをつくり出しています。今回は、6年生の取組を紹介します。

○学習主題：古川魅力再発見 ○学習内容：親子で地域のよさを探検する ○学習方法：総合学習で選んだテーマに合わせて親子で一緒に調べる ○使用資料：タブレット

杉崎廃寺跡について（Aさん）



誰に相談

お父さん

どこに行ったか・何をしたか

杉崎廃寺跡

- インターネットの資料だけでは、よくわからなかったなので、実際に見に行くことにした。

② 柱が立っていた一つ一つの石の広さ

門の柱が立っていたところ たて約43cm 横約54cm

金堂の柱が立っていたところ たて約1m 横約1m15cm

講堂の柱が立っていたところ たて約60cm 横約65cm

鐘楼の柱が立っていたところ たて約55cm 横約50cm

塔の柱が立っていたところ たて約35cm 横約35cm

分かったこと

- 柱ごとに使っている石の大きさが違う
- 柱の太さや建物の大きさに関係がある

まとめ

- 杉崎廃寺跡は、しきち広くていろんな種類の建物がある。
- 建物ごとに、柱がたっている石が違ふ。これは、柱の大きさや建物の大きさにも関係あるのではないかな。
- お父さんといっしょに実際の長さを測ったり、柱の跡地を探したりすることができてよかった。

（父）思ったより、大きいな～

（母）お店の方は忙しいので、都合のよい日を聞いてから出かけるといいね。

（父）柱の大きさに違いがあるなんて初めて知ったよ！

（母）行って来てよかったね。古川にはいいところがいっぱいあるね！いい人もいっぱい！

飛騨の魅力再発見（Bさん）

「古川といえば」のお店にインタビューしました

【調べ方】

- ① お母さんに知っていることを聞く
- ② 現地に行ってインタビューをする

【お母さんのアドバイス・お手伝い】

- ① 行く前にアポの電話をする
- ② 電話での話す内容の確認
- ③ 現地までの送迎

● 飛騨市に引っ越して半年前からやっていると言っていました。

● どうして東京から飛騨に引っ越してきたんですか？

たくさん自然があるところ、美味しい水があるところ、人がやさしいところだそうです。

● 〇〇の自慢はなんですか？

スタッフもお客さんも素敵な人がいっぱいいるところだそうです。

〇〇のお店のオーナーさんは東京から飛騨に引っ越してきて、〇〇をやっている、どうして飛騨に引っ越してみえたんですか？と聞くところ、自然、美味しい水、人が優しいところだと言っていました。

私も飛騨は人が優しく生活しやすいところだと思います。飛騨にはたくさんの素敵なお店がありました。みなさんもぜひ行ってみてください。

この取組は、1年間を通して学習する「総合的な学習の時間の親子の暑い夏の一コマ」です。学校の中で子どもたちだけで学習を進めるのではなく、学習の場を地域に広げ保護者（家族）の皆さんが参加・参画することで、親子（家族）の交流が生まれ、子どもたちの学びが膨らんでいます。地域人としての保護者（家族）の経験や知恵を活かし、何を学ぶかだけでなく「どのように学ぶか」を大切にしている取組が素晴らしい！

2月には、学習のまとめとしての学習発表会（授業参観）が計画されています。

11月3日(文化の日)は 「岐阜～ふるさとを学ぶ日」 下記の7文化施設が無料!



岐阜県では、11月3日を「岐阜ふるさとを学ぶ日」として、県有文化施設を無料開放し、県民の皆様文化・芸術を楽しんでいただく機会を提供しています。

また、県内各地域の博物館・資料館などでも当事業に協賛いただいております。ふるさとを学ぶことができる展示や入館料の割引、体験教室などが企画されます。是非、この機会に、ご家族そろって興味のある施設や未訪問の施設に足を運んでいただき、新しい文化や芸術に出合ってみてください。

岐阜県美術館

岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313



岐阜関ヶ原古戦場記念館

不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55
TEL 0584-47-6070



岐阜県博物館

関市小屋名1989(岐阜県百年公園内)
TEL 0575-28-3111



ぎふ木遊館

岐阜市学園町2-33
TEL 058-215-1515



岐阜県現代陶芸美術館

多治見市東町4-2-5
(セラミックパークMINO内)
TEL 0572-28-3100



国史跡 高山陣屋

高山市八軒町1-5
TEL 0577-32-0643



岐阜かかみがはら 航空宇宙博物館

各務原市下切町5-1
TEL 058-386-8500



まちかど美術館・博物館

県内の個人や法人の方々が所有の文化財・美術品等を一般の方々に公開されている施設です。県内に現在99施設あります。

(令和6年3月18日現在)
施設一覧や詳細はホームページをご確認ください。



県民文化局 文化伝承課
電話：058-272-8756



HPは、10月中旬頃に更新予定です!